

## 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）

高岡市国民健康保険では、健康・医療の情報を活用して保健事業を行うために、データヘルス計画を策定しています。第1期計画（平成28～29年度）の期間満了に伴い、第2期計画を策定しました。

目次	
1 データヘルス計画とは	P.1
2 計画策定・改定の経緯	P.1
3 第1期計画の現状・結果	P.2
4 第2期計画の目標と考え方	P.3
5 第2期計画の保健事業	P.4
6 目標管理一覧	P.5

### 1 データヘルス計画とは

被保険者の自主的な健康増進及び生活習慣病予防の取り組みに対し、保険者がその支援の中心となって保健事業を展開するための実施計画です。生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進により、健康寿命の延伸と医療費の適正化及び国民健康保険財政の基盤強化を図ります。

### 2 計画策定・改定の経緯

「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）において、全ての健康保険組合に対し、加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成等の取組が求められました。

これを踏まえ、保健事業の実施等に関する指針（厚生労働省告示）の一部改正により、保険者等は健康・医療情報を活用してPDC Aサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定した上で、保健事業の実施・評価・改善等を行うものとされました。

高岡市においても第1期データヘルス計画を定め、「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常症」「メタボ」及び「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「糖尿病性腎症」の発症予防・重症化予防として、早期発見・早期改善・重症化予防の3点の取り組みを行ってきました。

第1期計画の結果としては、特定健康診査の受診率がわずかながら伸びており、市民の健康意識が向上したと考えられます。一方、生活習慣病で治療中の者のうち、「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常症」「メタボ」の対象者割合は増加もしくは横ばいであり、また「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「糖尿病性腎症」の医療費が依然として高額であることがわかりました。第2期計画では引き続き、第1期計画での目標疾患の発症予防と重症化予防に取り組み、3年後の平成32年度に中間評価・分析を行い、必要に応じた中間見直しを行います。

#### 第1期データヘルス計画

糖尿病、高血圧症、脂質異常症、メタボ、脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症予防・重症化予防に取り組む。

#### 現状・結果

- ・特定健康診査の受診率は微増(図表18・19)
- ・メタボ該当・メタボ予備群が増加(図表22・23)
- ・生活習慣病治療者のうち、糖尿病、高血圧症、脂質異常症が増加もしくは横ばい(図表15・16)
- ・脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の医療費が依然として高額(図表13・14)

#### 第2期データヘルス計画

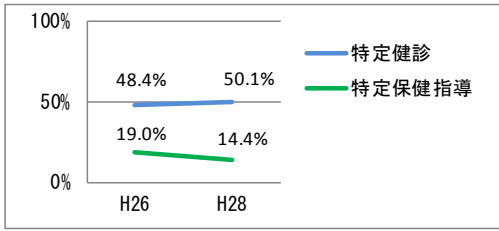
- ・特定健康診査、特定保健指導の実施率の向上に努め、糖尿病、高血圧症、脂質異常症、メタボの発症予防に取り組む。
- ・脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の合併症の発症を抑えるため、糖尿病、高血圧症、脂質異常症の重症化を予防し、医療費の抑制を図る。

### 3 第1期計画での現状・結果

(図表番号は計画上の図表番号と一致しています)

(図表18・19) 特定健診・特定保健指導 実施率の変化

	特定健診			特定保健指導		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	終了者数	実施率
H26	30,225人	14,638人	48.4%	1,682人	319人	19.0%
H28	27,961人	13,998人	50.1%	1,663人	239人	14.4%



健診の受診率は増加  
保健指導の実施率は減少

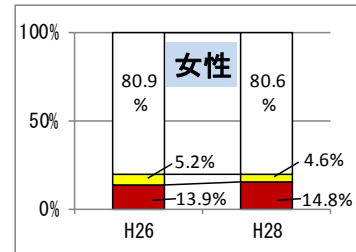
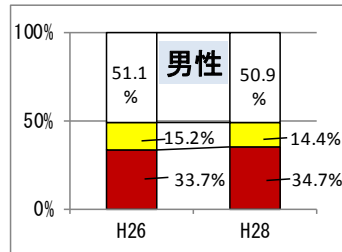
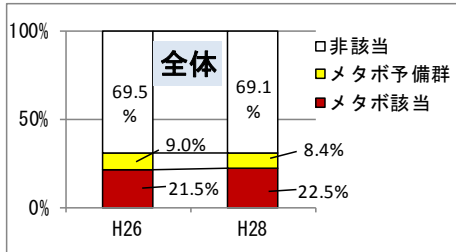
平成26年度と平成28年度のデータを比較しています。



(図表22・23) メタボ該当者・メタボ予備群の割合

	合計	メタボ該当者		メタボ予備群				
		男性	女性	男性	女性			
H26年度	実数	4,454人	3,140人	1,877人	1,263人	1,314人	845人	469人
	割合	30.5%	21.5%	33.7%	13.9%	9.0%	15.2%	5.2%
H28年度	実数	4,313人	3,144人	1,875人	1,269人	1,169人	777人	392人
	割合	30.9%	22.5%	34.7%	14.8%	8.4%	14.4%	4.6%

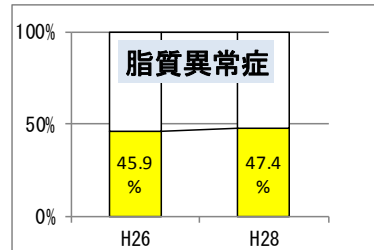
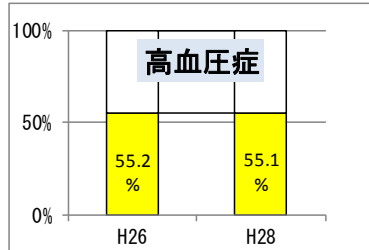
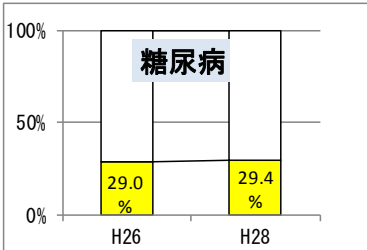
特定健康診査受診者のうち  
メタボが3割  
(男性は5割)  
(女性は2割)



(図表15・16) 生活習慣病で治療中の者のうち、糖尿病・高血圧症・脂質異常症の該当者

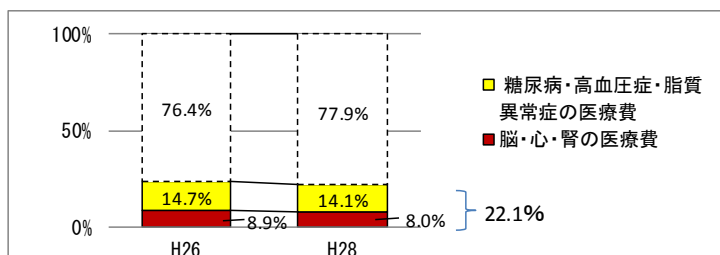
	糖尿病	高血圧症	脂質異常症
H26年度	4,705人	8,940人	7,433人
	29.0%	55.2%	45.9%
H28年度	4,597人	8,602人	7,403人
	29.4%	55.1%	47.4%

生活習慣病で治療中の者のうち  
糖尿病が3割  
高血圧症が5割以上  
脂質異常症が5割



(図表13・14) 脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症及び糖尿病・高血圧症・脂質異常症の医療費

	総医療費	脳・心・腎の医療費	
		糖尿病・高血圧症・脂質異常症の医療費	脳・心・腎の医療費
H26年度	12,709,904,550円	1,126,581,700円	8.9%
		1,873,268,110円	14.7%
H28年度	12,461,028,980円	992,194,660円	8.0%
		1,750,866,090円	14.1%



医療費全体のうち  
予防可能な疾患の医療費は  
22.1%で約27億円

## 4 第2期計画の目標と考え方

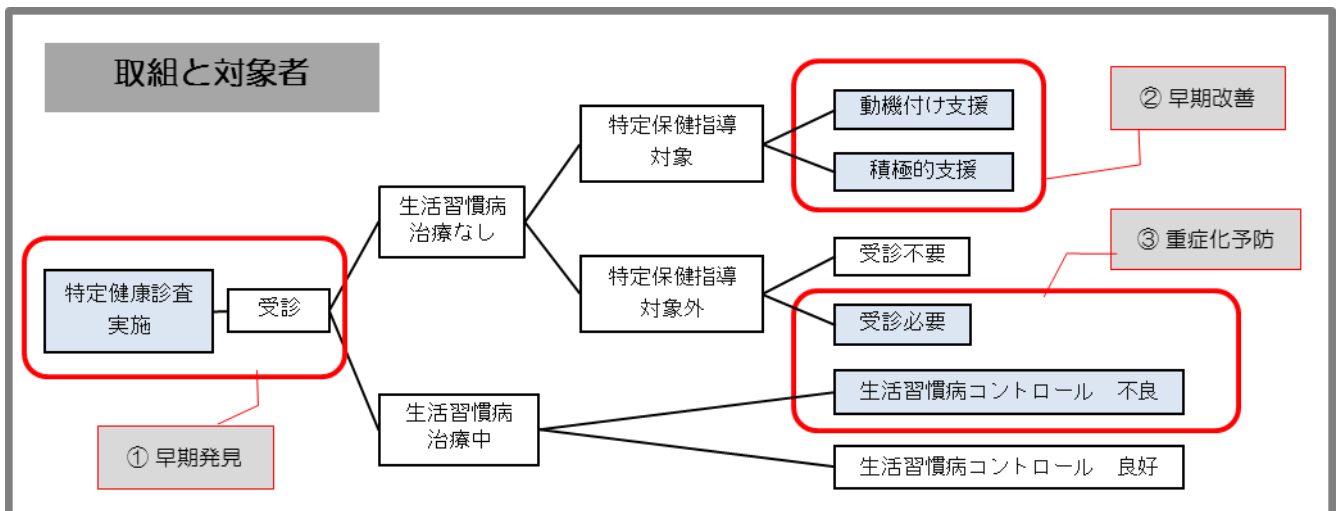
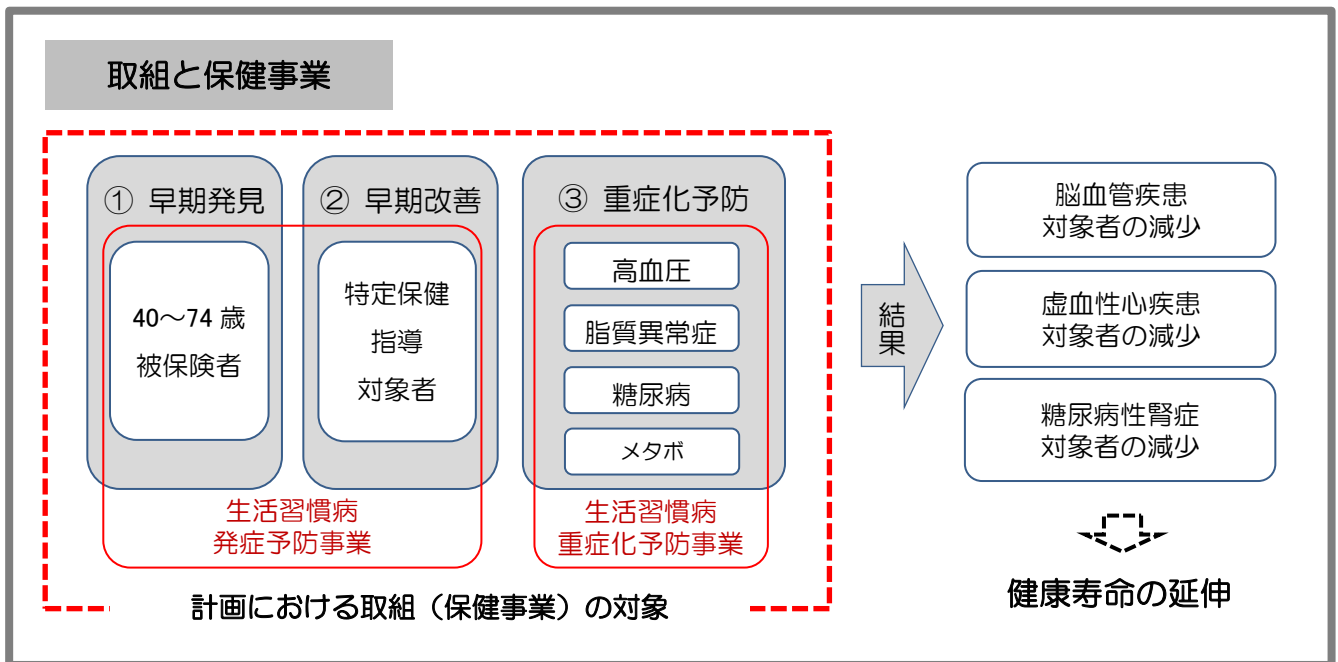
- 目 標**
- ① 糖尿病、高血圧症、脂質異常症の予防
  - ② メタボリックシンドロームの減少
  - ③ 脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の予防

**期 間** 平成30（2018）～35（2023）年度（6年間）

**重点取組** 生活習慣病のうち、  
予防可能である循環器疾患\*と糖尿病の予防

- ① **早期発見** 被保険者に自らの生活習慣等の問題点を発見させる取組
- ② **早期改善** 生活習慣等の改善を促すための取組  
生活習慣病の発症を予防するための特定保健指導
- ③ **重症化予防** 疾病の重症化を予防するための取組

循環器疾患\*の代表的なものとして、脳血管疾患、虚血性心疾患があり、その発症の危険因子となるものに高血圧と脂質異常があります



## 5 第2期計画の保健事業

### ① 早期発見・② 早期改善

#### 生活習慣病発症予防事業

#### 特定健康診査・特定保健指導

40歳以上の被保険者を対象にした特定健康診査・特定保健指導を実施し、自らの生活習慣等の見直しを行います。

実施率向上に向けた主な取組		具体的内容（案）
特定健康診査	①効果的な受診勧奨	・受診者分析で読み取った傾向等を用いた受診率向上に有効な受診勧奨（年代別受診勧奨や未受診者通知、電話勧奨など）
	②未受診者対策	・未受診者への受診勧奨の実施 ⑨人間ドックと特定健康診査の同時実施
特定保健指導	①対象者宅へ訪問	・対象者宅へ訪問による特定保健指導の利用勧奨（希望者には初回面接を実施）
	②初回面接の効率的な実施	⑨結果通知時に保健師等が初回面接を実施

### ③ 重症化予防

特定健康診査の結果より、生活習慣病のリスクを持つ者に対し、医療機関への受診勧奨や保健指導を実施します。（特定保健指導対象者を除く）

#### 生活習慣病重症化予防事業

#### 受診勧奨と保健指導

##### （1）脳血管疾患・虚血性心疾患予防

高額な医療費を要するとされる「脳血管疾患」、「虚血性心疾患」の発症を抑えるため、高血圧症・糖尿病・脂質異常症の重症化を防ぎます。

＜対象者＞ II度高血圧以上、HbA1c7.0%以上、LDL コレステロール 180mg/dl 以上、  
中性脂肪 400mg/dl 以上、尿たんぱく 2+以上のうち、1つ以上該当

##### （2）糖尿病重症化予防

血糖のリスクを持つメタボ該当者率が増加していることから、「糖尿病」の重症化を防ぎます。

＜対象者＞ HbA1c6.5%以上 7.0 未満

#### ⑨ 糖尿病性腎症重症化予防事業

#### 受診勧奨と保健指導、医療との連携

腎臓の状態がわかるクレアチニン検査（eGFR 値）の結果を用い、人工透析を要するとされる「糖尿病性腎症」の重症化を防ぎます。

＜対象者＞ ・eGFR 値 30 以上 60 未満かつ HbA1c6.5%以上の糖尿病未治療者  
・糖尿病治療中で重症化するリスクの高い者

未受診者に対し、受診勧奨を行います。

糖尿病治療中で重症化するリスクの高い者に対し、かかりつけ医と連携して保健指導を実施します。

⑨とは、新規の取り組みを表しています。

## 6 目標管理一覽

最終年度となる平成 35（2023）年度に評価し、次期計画へ向けた見直しを行います。また、3年後の平成 32（2020）年度に中間評価を行い、必要がある場合には計画の中間見直しを実施します。

目標	評価指標	実績値		目標値		図表
		H28 (2016)		H35 (2023)		
① 糖尿病、高血圧症、 脂質異常症の予防	特定健診受診率	50.1%	増加傾向	60.0%	国の目標値	図表 18
	特定保健指導実施率	14.4%	減少傾向	60.0%	国の目標値	
	治療中の糖尿病患者の割合	29.4%	増加傾向	29.4%	現状維持	図表 15
	治療中の高血圧者の割合	55.1%	横ばい	54.0%	減少	
	治療中の脂質異常者の割合	47.4%	増加傾向	47.4%	現状維持	
② メタボリックシンド ロームの減少	特定保健指導対象者の割合	30.9%	増加傾向	30.9%	現状維持	図表 21
③ 脳血管疾患、虚血性 心疾患、糖尿病性腎 症の予防	治療中の脳血管疾患対象者の割合	10.5%	減少傾向	9.5%	減少	図表 15
	治療中の虚血性心疾患対象者の割合	12.6%	減少傾向	11.0%	減少	
	治療中の糖尿病性腎症対象者の割合	1.5%	増加傾向	1.5%	現状維持	